



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年6月27日

上場会社名 株式会社ジーンズメイト 上場取引所 東  
 コード番号 7448 URL <http://www.jeansmate.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 西脇 昌司  
 問合せ先責任者（役職名） 専務取締役（氏名） 砂田 真一 (TEL) 03(5738)5555  
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月3日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の業績（平成26年2月21日～平成26年5月20日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	2,311	△0.7	△53	—	△43	—	△85	—
26年2月期第1四半期	2,327	△8.9	△153	—	△140	—	△179	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年2月期第1四半期	△7.85		—					
26年2月期第1四半期	△16.39		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第1四半期	7,394	5,255	71.1
26年2月期	7,059	5,341	75.7

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 5,255百万円 26年2月期 5,341百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の業績予想（平成26年2月21日～平成27年2月20日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,860	△1.5	△20	—	△11	—	△120	—	△10.98
通期	9,800	△1.3	0	—	18	—	△200	—	△18.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年2月期1Q	12,651,466株	26年2月期	12,651,466株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年2月期1Q	1,724,801株	26年2月期	1,724,589株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年2月期1Q	10,926,754株	26年2月期1Q	10,927,636株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実行中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成26年2月21日から平成26年5月20日まで)におけるわが国経済は、政府の経済政策等により企業収益が徐々に改善され、緩やかな景気回復の流れが続いておりますが、個人消費につきましては、消費税率の引き上げによる消費マインドの低下は依然として懸念されております。

このような経営環境のもと、当社では引き続き業績の回復と安定成長への基盤づくりに向けて取り組んでまいりました。

商品面におきましては、バッグや帽子などの雑貨類は堅調に推移したものの、春物商品の立ち上がりが全般的に苦戦し厳しいスタートとなりました。その後、例年よりも早めに投入した夏物商品においては順調に立ち上がり、機能素材のボトムスや前事業年度まで苦戦が続いていた半袖Tシャツなどのカットソーが中心となって全体を牽引いたしました。

販売面といたしましては、メール配信や新聞折込広告及び雑誌広告を継続するとともに、ホームページのリニューアルなども実施しながらお客様へのアプローチを充実させてまいりました。

また、プライベートブランド(メンズ「Blue Standard」、レディース「innocent blue」)を軸に生活雑貨などをミックスした新業態店舗「comfort blue(コンフォートブルー)」を立ち上げ、新たなユニセックス業態のチャレンジを開始いたしました。

出退店につきましては、上記の「comfort blue」及び「Blue Standard」をそれぞれ1店舗出店したことにより当第1四半期会計期間末の総店舗数は100店舗(うち24時間営業店舗は17店舗(すべて「JEANS MATE」))となりました(業態内訳は下表参照)。

以上の結果、売上高23億11百万円(前年同四半期比0.7%減)、営業損失53百万円(前年同四半期は営業損失1億53百万円)、経常損失43百万円(前年同四半期は経常損失1億40百万円)、四半期純損失85百万円(前年同四半期は四半期純損失1億79百万円)となりました。

#### 業態別店舗数

業態	店舗数	出店地域(都道府県)
JEANS MATE	80店舗	東京 神奈川 千葉 埼玉 愛知 大阪 兵庫 広島 山口 福岡
ワケあり本舗	12店舗	東京 神奈川 千葉 愛知 三重 大阪 兵庫 福岡
Happy Door	3店舗	神奈川 栃木 広島
Blue Standard	2店舗	大阪 福岡
STREET	2店舗	千葉
comfort blue	1店舗	東京

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ3億35百万円増加し、73億94百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ3億45百万円減少し、41億55百万円となりました。これは主に現金及び預金が6億73百万円増加、商品が5億60百万円増加しましたが、有価証券が17億9百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ6億80百万円増加し、32億39百万円となりました。これは主に投資有価証券が6億87百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ4億22百万円増加し、21億39百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ4億25百万円増加し、13億37百万円となりました。これは主に買掛金が4億15百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ3百万円減少し、8億2百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ86百万円減少し、52億55百万円となりました。これは主に四半期純損失を85百万円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年4月4日に公表いたしました「平成26年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の記載から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度において営業損失6億82百万円、当期純損失7億56百万円となり、当第1四半期累計期間においても営業損失53百万円、四半期純損失85百万円となりました。当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当該状況を解消又は改善すべく、商品力及び販売力の強化を中心に収益力の回復に取り組んでまいります。

#### ① プライベートブランドの拡充

当社の男性向けメインブランドである「Blue Standard」は発売開始以降、着実に拡大させることができておりますが、これまで未着手であった女性向けのブランドにつきましては前事業年度末に「innocent blue」として立ち上げました。今後は両ブランドをメインにその他のプライベートブランドの動向も検証しながら、お客様にご支持いただけるよう努めてまいります。

#### ② 売上総利益の改善

プライベートブランドを拡充していくとともに、在庫効率を高めることで売上総利益の改善を目指してまいります。前事業年度の下半期より不振商品の処分を強化した結果、商品在庫の当期首残高は前期首残高に比べ約20%減少いたしました。今後は在庫量や販売期間等を見極めながら在庫効率の改善に努めてまいります。

#### ③ 「伝える売場」の構築

従来の価格訴求中心の売場ではなく、個々の商品情報(デザインや機能等のセールスポイント)をお客様に確実にお伝えできる売場を整備し、お客様に購買意欲を高めていただけるような売場づくりに取り組んでまいります。

#### ④ 新業態店舗の確立

これまでは基幹業態である「JEANS MATE」をはじめとして「ワケあり本舗」、「Happy Door」、「Blue Standard」を運営してまいりました。また、前事業年度には「STREET」を、当第1四半期累計期間においても「comfort blue(コンフォートブルー)」を新たな業態としてオープンいたしました。今後は各業態の動向を検証しながら収益力の強化に取り組んでまいります。

上記を中心とした施策を講じながら収益力の回復に努めてまいりますとともに、今後の運転資金は十分に確保できていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月20日)	当第1四半期会計期間 (平成26年5月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	928,095	1,601,690
売掛金	110,472	213,232
有価証券	1,954,116	244,698
商品	1,357,005	1,917,528
その他	151,015	178,240
流動資産合計	4,500,705	4,155,389
固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	644,111	1,331,178
敷金及び保証金	1,910,756	1,905,834
長期未収入金	174,000	173,700
その他	3,528	2,261
貸倒引当金	△174,000	△173,700
投資その他の資産合計	2,558,396	3,239,274
固定資産合計	2,558,396	3,239,274
資産合計	7,059,101	7,394,664
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払信託	149,118	169,497
買掛金	182,447	598,311
賞与引当金	24,633	11,495
ポイント引当金	170,842	132,003
店舗閉鎖損失引当金	—	2,135
資産除去債務	7,864	11,094
その他	376,534	412,639
流動負債合計	911,440	1,337,176
固定負債		
資産除去債務	457,645	455,164
長期未払金	335,877	335,877
その他	12,214	11,444
固定負債合計	805,736	802,485
負債合計	1,717,176	2,139,661
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,015,812	2,015,812
資本剰余金	2,125,434	2,125,434
利益剰余金	2,458,122	2,372,398
自己株式	△1,259,845	△1,259,891
株主資本合計	5,339,523	5,253,754
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,404	1,271
繰延ヘッジ損益	△2	△23
評価・換算差額等合計	2,401	1,248
純資産合計	5,341,924	5,255,002
負債純資産合計	7,059,101	7,394,664

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年5月20日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年5月20日)
売上高	2,327,309	2,311,032
売上原価	1,235,275	1,144,628
売上総利益	1,092,033	1,166,404
販売費及び一般管理費	1,245,036	1,220,083
営業損失(△)	△153,002	△53,679
営業外収益		
有価証券利息	8,398	6,295
受取賃貸料	3,141	5,370
その他	4,494	3,997
営業外収益合計	16,034	15,662
営業外費用		
賃貸費用	2,970	5,370
その他	536	145
営業外費用合計	3,506	5,515
経常損失(△)	△140,474	△43,532
特別損失		
減損損失	27,958	29,527
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	2,135
特別損失合計	27,958	31,662
税引前四半期純損失(△)	△168,432	△75,194
住民税	10,693	10,529
四半期純損失(△)	△179,125	△85,723



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。